

目的：女子大生をもつ母親の今後の生き方は既に報告*した。ここでは調査した母親の娘である女子大生の育てられ方の実態、および将来希望している生き方と自分の家庭環境との関連についての結果を報告する。

方法：1) 調査時期：平成9年1月 2) 有効回答数 323部 調査項目：(A)家族との生活についての満足度 (B)家庭のしつけ (C)親に対する現在の思い (D)現在の学生生活 (E)将来希望する生き方 3) 調査結果の処理：調査項目統計処理は(SL-MICRO)を用いて処理、分析した。

結果：家族との生活の満足度は、家庭の雰囲気は95%が、経済状態は88%がまあまあ満足と感じている。母親には自分に対しての理解や期待が父親より高いと感じており、日常生活でのつながりの深さが母親との方にあることが分かる。独立後も親と経済的・精神的に相互の援助をしあうと考えている。家庭の経済状態が良いとする学生は、独立後も親に援助を求めるだろうとの割合が高く、また援助してくれると思っている。半数が仕事を継続する生き方を望み、充実した家族関係や経済的な豊かさを求めている。また、仕事を継続するとの学生は生きがいのある仕事に就きたいとする割合が高い。教育学専攻の学生は、身近に教育に携わる人の影響を受けて将来の職業を希望している。母親の47%は、結婚しても仕事を続けて欲しいと望み、その母親は娘に手助けをしてやりたいとする傾向がある。母と娘間相互の思いの期待とずれについても検討した。

* 家政学会関西支部第19回研究発表会講演要旨 p22(1997)